

# + 安全だより

(公社) 大館市シルバー人材センター

安全・適正就業委員会 No,51

## はしごや脚立からの墜落・転落災害をなくそう！！

はしごや脚立は、ごく身近な用具であるため、墜落・転落の危険をそれほど感じずに使用する機会が多いでしょう。しかし過去の災害事例を見ると骨折などの重篤な災害が多く発生し負傷箇所によっては死亡に至る災害も少なくありません。

ポイント 1 : はしごや脚立に関する災害発生原因の特徴を踏まえた安全対策をとり、想定される危険を常に予知しながら、はしごや脚立を使用しましょう。

ポイント 2 : はしごや脚立は、足元が不安定になりやすく危険です。まず、代わりとなる床面の広いローリングタワー（移動式足場）や作業台などの使用を検討しましょう。

ポイント 3 : はしごや脚立を使用する際は、高さ 1m 未満の場所での作業であっても墜落時保護用のヘルメットを着用して、頭部の負傷を防ぎましょう。



裏面にはヒヤリ・ハットについて・・・

# 自分の身を守る安全意識：動作に潜む危険！！

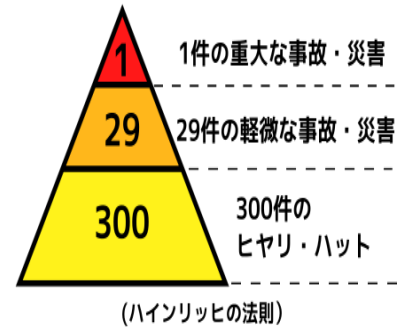
《 自分でできる安全対策とは 》

1：ごくあたり前ことはあたり前にする。

2：絶対に「横着」はしない。

以上の2つがキチンとできれば、災害も大幅に減少します。

「交通事故」「その他の事故」も同様です。



ヒヤリ・ハットの事例を紹介します。

【事例1】食事の準備中、調理器具立てを倒し包丁が落下し足の甲に刺さりそうになった。



原因：作業場所の状況を十分確認せず、刃物を使用する注意が不足。

対策： \_\_\_\_\_

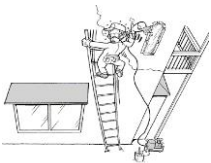
【事例2】脚立に乗って窓の拭き掃除を行っていた、脚立がぐらつき転落しそうになった。



原因：段差に気がつかないまま、地面に脚立を立てた。

対策： \_\_\_\_\_

【事例3】塗装作業中、はしごから墜落しそうになった。



原因：作業を始めようとしたときに、はしごを固定していなかった。

対策： \_\_\_\_\_



☆あなたなら、どの様な対策を講じますか？☆



資料出典：厚生労働省 HP を参照に作成